



平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 福

上場会社名 メディアファイブ株式会社

コード番号 3824 URL <http://www.media5.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上野 英理也

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 吉行 亮二

TEL 092-762-0555

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	249	△4.7	△15	—	△14	—	△15	—
26年5月期第1四半期	262	13.2	△0	—	△0	—	△4	—

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 △13百万円 (—%) 26年5月期第1四半期 △2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	△18.04	—
26年5月期第1四半期	△5.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年5月期第1四半期	422	—	272	—	64.0	320.96
26年5月期	467	—	285	—	60.7	335.17

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 270百万円 26年5月期 284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	514	0.1	△9	—	△10	—	△14	—	△16.52
通期	1,110	5.8	35	32.8	35	29.2	20	18.7	23.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	893,600 株	26年5月期	893,600 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	46,000 株	26年5月期	46,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	847,600 株	26年5月期1Q	847,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付書類】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融政策等の効果により、円安や株高の傾向が継続し、企業業績や個人消費に改善がみられるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税率の引き上げによる景気への影響が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界では、景況感の改善に伴い、主に金融業や製造業等のIT関連投資が増加傾向にあり、今後も緩やかな回復基調が継続するものと考えております。また、首都圏を中心に依然として高度IT人材の不足感は強くなっております。

このような環境の中、ソリューション事業B to Bソリューショングループは、新規取引先及び既存取引先において技術力向上に見合うITエンジニアの契約単価交渉を積極的に推し進めたことが大きな要因となり、売上高・売上総利益が増加いたしました。なお、優秀な人材の囲い込みを目的に、ITエンジニアの技術力向上や作業能力の実績等に応じて労務費も上昇させております。

ソリューション事業B to Cソリューショングループは、システム開発案件の受注が遅れており売上高が減少しておりますが、引き続き、中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」サービスを軸にワンストップ型ソリューション提案を推し進めております。

工事関連事業は、消費税率上昇後の影響も考えられ、やや低調なスタートとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高249,947千円（前年同四半期は262,156千円）、売上総利益83,426千円（同86,158千円）、営業損失15,093千円（同261千円）、経常損失14,686千円（同697千円）、四半期純損失15,287千円（同4,493千円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。）

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しております。なお、業績における前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の区分方法及び算定方法により組み替えて比較しております。

①ソリューション事業B to Bソリューショングループ

ソリューション事業B to Bソリューショングループは、稼働者数136名からスタートし、稼働率も概ね高い水準で推移いたしました。前連結会計期間において、ORACLE MASTER等のITベンダー系の資格取得を中心にIT人材のスキルアップに注力した結果、一人当たりの平均単価は上昇しており、売上高が増加いたしました。なお、東京地区を中心に、大規模な基幹システムの運用・サポート業務に従事するチームを独立させ「運用・サポート本部」を新設いたしました。高スキルを背景とした高収益性グループの特色を出し、政策的に営業活動を強めております。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は228,946千円（前年同四半期は217,834千円）、セグメント利益は44,624千円（同39,841千円）となりました。

②ソリューション事業B to Cソリューショングループ

ソリューション事業B to Cソリューショングループは、中小企業のITを支援する比較的ライトな「OFFICE DOCTOR」サービスは、取引社数・取引金額ともに増加しておりますが、システム開発案件が減少しており、全体の売上高及び売上総利益が減少いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,660千円（同9,480千円）、セグメント損失は6,602千円（同2,275千円）となりました。

③工事関連事業

工事関連事業は、福岡県の各種テナント・賃貸ビル等の内装工事・外装工事を中心に事業を行っております。第1四半期連結累計期間は、消費税率上昇後の影響も考えられ、売上高が減少いたしました。既存先への提案型営業を強化し、新規案件獲得の動きに注力いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は9,497千円（同35,102千円）、セグメント損失は1,168千円（前年同四半期はセグメント利益5,128千円）となりました。

④その他事業

その他事業は、当社の連結子会社である株式会社ダブルスキルによるデザイン・広告・Webサイト等の作成を行う事業などです。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

(資産)

資産合計は422,884千円(前連結会計年度末は467,873千円)、うち流動資産349,557千円(同397,559千円)、固定資産73,326千円(同70,314千円)となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金225,490千円(同275,234千円)、売掛金109,064千円(同107,668千円)等です。固定資産については有形固定資産15,171千円(同15,652千円)、無形固定資産2,212千円(同2,736千円)、敷金及び保証金28,318千円(同27,515千円)等です。

(負債)

負債合計は150,838千円(同182,590千円)、うち流動負債は126,911千円(同156,572千円)、固定負債は23,926千円(同26,017千円)となりました。

その主な内訳は、流動負債については買掛金5,554千円(同10,350千円)、未払費用22,965千円(同65,213千円)等です。固定負債については長期借入金21,323千円(同24,454千円)等です。

(純資産)

純資産合計は272,046千円(同285,283千円)、うち株主資本260,505千円(同275,793千円)、その他の包括利益累計額10,196千円(同8,296千円)、少数株主持分1,344千円(同1,194千円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	275,234	225,490
売掛金	107,668	109,064
仕掛品	5,235	6,240
原材料及び貯蔵品	832	928
繰延税金資産	186	—
その他	8,825	8,227
貸倒引当金	△422	△393
流動資産合計	397,559	349,557
固定資産		
有形固定資産	15,652	15,171
無形固定資産	2,736	2,212
投資その他の資産		
敷金及び保証金	27,515	28,318
その他	24,409	27,624
投資その他の資産合計	51,925	55,942
固定資産合計	70,314	73,326
資産合計	467,873	422,884
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,350	5,554
1年内返済予定の長期借入金	14,664	14,129
未払法人税等	9,661	901
未払消費税等	15,851	15,385
賞与引当金	—	28,599
未払費用	65,213	22,965
その他	40,831	39,376
流動負債合計	156,572	126,911
固定負債		
長期借入金	24,454	21,323
繰延税金負債	1,563	2,603
固定負債合計	26,017	23,926
負債合計	182,590	150,838

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	175,825	175,825
資本剰余金	141,525	141,525
利益剰余金	△32,733	△48,021
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	275,793	260,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,296	10,196
その他の包括利益累計額合計	8,296	10,196
少数株主持分	1,194	1,344
純資産合計	285,283	272,046
負債純資産合計	467,873	422,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	262,156	249,947
売上原価	175,997	166,521
売上総利益	86,158	83,426
販売費及び一般管理費	86,420	98,520
営業損失(△)	△261	△15,093
営業外収益		
受取利息	4	6
雑収入	17	530
営業外収益合計	21	536
営業外費用		
支払利息	176	124
創立費償却	276	—
雑損失	4	4
営業外費用合計	457	128
経常損失(△)	△697	△14,686
税金等調整前四半期純損失(△)	△697	△14,686
法人税、住民税及び事業税	4,145	264
法人税等調整額	△265	186
法人税等合計	3,879	451
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,576	△15,137
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△82	150
四半期純損失(△)	△4,493	△15,287

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,576	△15,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,822	1,899
その他の包括利益合計	1,822	1,899
四半期包括利益	△2,754	△13,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,671	△13,387
少数株主に係る四半期包括利益	△82	150

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。